

平成 20 年 5 月 14 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都中央区銀座六丁目 2 番 1 号
D A オフィス投資法人
代表者名 執行役員 松岡 孝太郎
(コード番号: 8976)

資産運用会社名
株式会社ダヴィンチ・セレクト
代表者名 代表取締役社長 西垣 佳機
問合せ先 取締役財務部長 但野 和博
TEL.03-6215-9649

第三者割当による新投資口発行に関するお知らせ

本投資法人は、本日開催した役員会において、第三者割当による新投資口発行に関し、下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 新投資口発行要領

- (1) 発行新投資口数: 138,905 口
- (2) 発行価額(払込金額): 一口当たり 金431,949 円
- (3) 発行価額の総額: 59,999,875,845 円
- (4) 申込期間(申込期日): 平成20年5月30日
- (5) 払込期日: 平成20年6月4日
- (6) 割当先及び口数: (割当先)株式会社コロンプス
(口数) 138,905 口
(払込金額) 59,999,875,845 円
- (7) 募集又は割当方法: 第三者割当の方法によります。
- (8) 新投資証券交付日: 平成20年6月5日
- (9) 上記各号については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とします。

2. 今回の発行による発行済投資口総数の推移

現在の発行済投資口総数 205,000 口
発行による増加投資口数 138,905 口
発行後発行済投資口総数 343,905 口

3. 発行の理由及び資金の用途等

- (1) 第三者割当により発行される投資口の募集の目的

本投資法人においては、本日現在の総有利子負債約1,400億円のうち本年中に返済・償還期限を迎える有利子負債残高が1,076.25億円(詳細については下記「本年中に返済・償還期限を迎える有利子

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

負債の状況(本日現在)」をご参照下さい。)存在し、かかる有利子負債のリファイナンスリスクが本投資法人の投資口価格に重大な影響を与えているものと認識しています。一方で資金調達環境に目を転じると、サブプライムローン問題が特に外資系金融機関の財務状況に甚大な影響を及ぼす中、本投資法人の借入金調達にあたりこれまで大きな位置づけを占めてきた外資系を含む証券化レンダー各社からの要求スプレッドが、当初の想定を大幅に超えて上昇してきており、低廉なコストでの借入金の再調達が極めて困難な状況となっております。

このようなファイナンス環境の中で、かかる状況を改善するべくあらゆる手段を検討した結果、本投資法人の企図するリファイナンスのタイミング及びファイナンスの確実性を考慮した場合、第三者割当の実施がもっとも適切であると判断し、スポンサーサポート会社である株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズの100%出資会社である株式会社コロンプス(以下「割当先」といいます。)に対して第三者割当(以下「本第三者割当」といいます。)を行い、その払込金を借入金の返済及び投資法人債の償還(以下「借入金の返済等」といいます。)に充当することとしました。これにより、本投資法人は リファイナンスリスク及び借入コストを低減し、財務基盤の安定化を図ることが可能となります。また、借入金の返済等を行うことで有利子負債比率が低下することから、新規の借入金による物件取得余力が生じ、本投資法人の更なる外部成長が可能になるものと考えます。

< 本年中に返済・償還期限を迎える有利子負債の状況(本日現在) >

短期借入金：690億円

借入先	第4期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	平成20年 5月14日現在 残高 (千円)	利率 (注)	返済期限	摘要
野村キャピタル・インベストメント(株)	11,000,000	-	11,000,000	1.252%	H20.7.31	無担保
(株)あおぞら銀行	4,500,000	-	4,500,000	1.252%	H20.8.31	
(株)りそな銀行	3,000,000	-	3,000,000			
野村キャピタル・インベストメント(株)	13,500,000	-	13,500,000	1.252%	H20.7.31	
(株)新生銀行	2,500,000	-	2,500,000	1.252%	H20.11.28	
(株)リーマン・ブラザーズ・コマーシャル・モーゲージ	-	25,500,000	25,500,000	1.359%	H20.12.3	
(株)韓国外換銀行	-	1,700,000	1,700,000			
N T Tファイナンス(株)	-	2,000,000	2,000,000			
(株)西京銀行	-	500,000	500,000			
芙蓉総合リース(株)	-	300,000	300,000			
(株)あおぞら銀行	-	4,500,000	4,500,000	1.369%	H20.7.18	
合計	34,500,000	34,500,000	69,000,000	-	-	-

(注)利率は、借入先金融機関ごとの平成20年5月14日現在の借入利率を小数点第4位で四捨五入しております。

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

長期借入金：86.25億円

借入先	第4期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	平成20年 5月14日現在 残高 (千円)	利率 (注)	返済期限	摘要
シティバンク銀行(株)	-	8,625,000	8,625,000	1.352%	H20.12.25	無担保
合計	-	8,625,000	8,625,000	-	-	-

(注) 利率は、借入先金融機関の平成20年5月14日現在の借入利率を小数点第4位で四捨五入しております。

投資法人債：300億円

銘柄	発行日	第4期末 残高 (千円)	平成20年 5月14日現在 残高 (千円)	利率 (%)	償還期限	摘要
第1回 無担保投資法人債	平成19年11月26日	30,000,000	30,000,000	1.5	平成20年11月28日	無担保
合計	-	30,000,000	30,000,000	-	-	-

本年中に返済・償還期限を迎える有利子負債： + + = 1,076.25億円

(2) 発行価額の算定方法

発行価額は発行決議日である平成20年5月14日の直前営業日(平成20年5月13日)までの直近3ヶ月間(平成20年2月14日から平成20年5月13日まで)の各取引日における東京証券取引所が公表した本投資法人投資口を表示する投資証券の普通取引の終値の平均価格の95%(431,949円。1円未満四捨五入)に相当する価格としました。なお、当該発行価額は、直前営業日(平成20年5月13日)の本投資法人の投資口価格の終値400,000円に対して、約8%のプレミアムとなっています。

(参考)

	投資口価格(a)	発行価額/(a)-1
直前営業日(平成20年5月13日)の終値	400,000円	8.0%
直近1ヶ月(平成20年4月14日から平成20年5月13日)までの終値平均	427,368円	1.1%

(3) 調達する資金の額

59,999,875,845円(差引手取概算額)

(4) 発行調達資金の具体的用途

本第三者割当による手取金(59,999,875,845円)につきましては、短期借入金の返済及び投資法人債の償還に充当します。

(5) 調達する資金の支出予定時期

平成20年6月

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

(6) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当を行うことで、調達コストが相対的に高い有利子負債を返済・償還し、リファイナンスリスク及び借入コストを低減し、財務基盤の安定化を図ることが可能となります。

また、本第三者割当を行い、借入金の返済等を行うことで負債比率が低下することから、新規の借入金による物件取得余力が生じ、本投資法人の更なる外部成長が可能になるものと考えます。

このように本第三者割当により、借入金の返済等を行い、リファイナンスリスク及び借入コストを低減し財務基盤の安定を図ることは、今後の更なる外部成長を可能にし、本投資法人の中長期的な成長及び投資口価値の向上に資するものであり、合理的な資金使途であると考えます。

(7) 投資法人の運用に与える影響見通し

本日付で発表いたします、「平成20年11月期（第6期）運用状況の予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりです。

4. 発行後の有利子負債比率の見込み

本第三者割当の手取り金による借入金の返済等を勘案した後の有利子負債比率(注)は、平成20年11月期末時点において約30%となる見込みです。

(注) 有利子負債比率 = 有利子負債残高 ÷ 本投資法人保有物件の取得価格総額

上記予想数値は、本投資法人が本書の日付現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の物件の取得又は売却、新規の借入又は既存借入の返済、不動産市場等の推移、本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、実際の有利子負債比率は変動する可能性があります。

5. 最近3営業期間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3営業期間の業績

決 算 期	平成 18 年 11 月期	平成 19 年 5 月期	平成 19 年 11 月期
1口当たり当期純利益(円)	20,195円	29,374円	23,948円
1口当たり分配金(円)	20,196円	29,374円	21,245円
1口当たり純資産(円)	517,183円	526,361円	649,445円

(2) 最近の投資口価格の状況

最近3営業期間の状況

	平成 18 年 11 月期	平成 19 年 5 月期	平成 19 年 11 月期
始 値	474,000円	533,000円	941,000円
高 値	579,000円	1,010,000円	950,000円
安 値	435,000円	531,000円	680,000円
終 値	538,000円	950,000円	750,000円

最近6か月間の状況

	平成 19 年 11 月	12 月	平成 20 年 1 月	2 月	3 月	4 月
始 値	764,000円	744,000円	724,000円	596,000円	490,000円	441,000円
高 値	780,000円	778,000円	725,000円	601,000円	493,000円	514,000円
安 値	707,000円	700,000円	488,000円	481,000円	392,000円	401,000円
終 値	750,000円	724,000円	566,000円	494,000円	440,000円	409,000円

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

発行決議日の前日における投資口価格

	平成 20 年 5 月 13 日現在
始 値	401,000 円
高 値	402,000 円
安 値	398,000 円
終 値	400,000 円

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

発 行 期 日	平成 20 年 6 月 4 日
調 達 資 金 の 額	59,999,875,845 円 (発行価額 : 431,949 円)
募集時における 発行済投資口数	205,000 口
当該増資による 発行投資口数	138,905 口
募集後における 発行済投資口総数	343,905 口
割 当 先	株式会社コロンプス

(4) 最近 3 年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資

発 行 期 日	平成 17 年 10 月 18 日
調 達 資 金 の 額	49,498,710,000 円 (発行価額 : 496,975 円)
募集時における 発行済投資口数	400 口
当該増資による 発行投資口数	99,600 口
当初の資金使途	特定資産の取得資金等に充当しました。
支出予定時期	既に支出済みです。
現時点における 充 当 状 況	既に支出済みです。

・公募増資

発 行 期 日	平成 19 年 7 月 10 日
調 達 資 金 の 額	75,316,500,000 円 (発行価額 : 753,165 円)
募集時における 発行済投資口数	100,000 口
当該増資による 発行投資口数	100,000 口
当初の資金使途	特定資産の取得資金及び短期借入金の返済等に充当しました。

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

支出予定時期	既に支出済みです。
現時点における 充 当 状 況	既に支出済みです。

・第三者割当増資

発行期日	平成19年8月7日
調達資金の額	3,765,825,000円（発行価額：753,165円）
募集時における 発行済投資口数	200,000口
当該増資による 発行投資口数	5,000口
割 当 先	野村證券株式会社
当初の資金用途	特定資産の取得資金及び短期借入金の返済等に充当しました。
支出予定時期	既に支出済みです。
現時点における 充 当 状 況	既に支出済みです。

6.大投資主及び所有投資口比率

(1)募集後における大投資主及び所有投資口比率

投資主名	口数	所有投資口 比率
株式会社コロンプス	138,905口	40.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	15,806口	4.60%
日興シティ信託銀行株式会社（投信口）	14,639口	4.26%
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	14,500口	4.22%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	13,649口	3.97%
野村信託銀行株式会社（投信口）	11,261口	3.27%
アメリカン ライフ インシュアランス カンパニー ジーエイエル	7,989口	2.32%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	7,983口	2.32%
株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズ	6,950口	2.02%
シービー ホンコン コジェント グローバル プロパティ セキュリティーズ ファンド	3,684口	1.07%
株式会社広島銀行	3,257口	0.95%

（注1）発行済投資口総数に対する保有投資口数比率は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

（注2）上記の表は、平成19年11月末日現在の投資主名簿に記載された内容に変化がない状態で本第三者割当による投資口発行を行った場合の投資主の状況を示したものであり、実際の投資主の状況とは必ずしも一致しません。

（注3）平成19年12月1日以降、平成20年5月9日までの間に本投資法人の投資口に関し提出された大量保有報告書又はその変更

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

報告書の概要は以下のとおりです。

提出日	氏名又は名称	所有投資口数(口)	保有割合(%)
平成19年12月7日	野村證券株式会社	1,587	0.77
	NOMURA INTERNATIONAL PLC	233	0.11
	野村アセットマネジメント株式会社	13,036	6.36
	計	14,856	7.25
平成20年2月29日	株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズ	6,950	3.39
平成20年4月22日	フィデリティ投信株式会社	9,879	4.82
	エフエムアール エルエルシー (FMR LLC)	1,130	0.55
	計	11,009	5.37

(2) 今回の第三者割当によって、上位3投資主の所有投資口比率が40%を超える場合は、当該割当先との間で、導管性要件の充足に関する合意があるか否か

割当先は、以下の場合、本投資法人及び本投資法人が資産の運用に係る業務を委託している株式会社ダヴィンチ・セレクト(以下「本資産運用会社」といいます。)と誠実に協議し、かかる協議の内容に従い、本投資法人について租税特別措置法(昭和32年法律第26号。その後の改正を含みます。)第67条の15第1項第2号ニに掲げる要件(以下「非同族会社要件」といいます。)が満たされることとなるために必要な協力を行う旨、合意しております。

本投資法人及び本資産運用会社から、割当先並びに割当先と法人税法施行令(昭和40年政令第97号。その後の改正を含みます。)第4条で定める特殊の関係のある個人及び法人(以下「割当先等」と総称します。)が本投資法人の発行済投資口の総数又は議決権の総数の100分の50を超える数の投資口又は議決権を有することとなり、本投資法人が非同族会社要件を満たさないこととなるおそれがあり、本投資法人が非同族会社要件を満たすために必要であるとして、割当先による新投資口の売却その他の処分について協議の申し入れがあった場合。

本第三者割当の実行後、割当先等が保有する本投資法人の投資口の発行済投資口総数に対する割合又は割当先等の保有する本投資法人の議決権の議決権総数に対する割合(以下「割当先等の保有割合」といいます。)が本第三者割当の実行直後における当該割合よりも増加することとなる()割当先等による本投資法人の投資口の追加取得、()割当先等と第三者との間の議決権の行使その他に係る合意、()割当先等によるその他の行為(以下「追加取得等」と総称します。)が行われるときで、本投資法人及び本資産運用会社から、当該追加取得等により本投資法人が非同族会社要件を満たさなくなるおそれがあることを理由として協議の申し入れがあった場合。なお、割当先は、追加取得等が行われる場合には、その都度、本投資法人及び本資産運用会社に対し、その内容、その他本投資法人が合理的に要求する事項を事前に通知することを合意しています。また、本項の合意は、本第三者割当の実行後、割当先等の保有割合が10%を下回るようになるまで、効力を有するものとされています。

7. 業績への影響の見通し

本日付で発表いたします、「平成20年11月期(第6期)運用状況の予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりです。

8. 発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠並びに考え方(ディスカウントの場合は、その理由)

発行価額は発行決議日である平成20年5月14日の直前営業日(平成20年5月13日)までの直近3ヶ月間(平成20年2月14日から平成20年5月13日まで)の各取引日における東京証券取引所が公表した本投資法人投

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

資口を表示する投資証券の普通取引終値の平均価格の95%（431,949円。1円未満四捨五入）に相当する価格としました。

発行価格を上記期間の終値平均としたのは、価格算定根拠として客観性・公平性が高いと判断したためです。また、ディスカウント率に関しては、発行決議から払込日までの投資口価格下落リスク等を考慮して決定いたしました。

なお、本投資法人の直近の貸借対照表（平成19年11月末日現在）に基づく本投資法人投資口の一口当たり純資産額は649,445円でした。また、当該貸借対照表における純資産額（133,136百万円）（平成19年11月末日現在）に本第三者割当に係る投資口の発行価額総額（59,999百万円）を加えた総額193,135百万円を、本第三者割当実行後の発行済投資口数343,905口で除して計算した一口当たりの金額は561,594円（注）となります。

（注）上記数値は、本第三者割当が本投資法人の一口当たり純資産額に与える影響の程度を示すための参考情報として記載するものに過ぎず、当期の業績を含め、平成19年11月末日以降に生じた事由は考慮しておりません。

(2)発行数量及び投資口の希薄化がもたらす一口当たりの分配金への影響が合理的であると判断した根拠

本投資法人が、平成20年1月23日付決算短信にて開示しております第6期（平成20年6月1日～平成20年11月30日）決算予想（以下「当初発表予想」といいます。）における一口当たり分配金は、14,706円(a)でした。本第三者割当実施後の発行済投資口総数は205,000口から343,905口へと増加しますが、これと同時にダヴィンチ三田の譲渡を行うこと（詳細は本日付で発表いたします、「資産譲渡（基本合意書締結）に関するお知らせ」をご覧ください。）及び、借入金の返済等を行うことで借入コストの軽減が図られることにより、第6期の一口当たり分配金（予想）は14,232円(b)となり、当初発表予想にて開示しておりました予想分配金の水準から約3.2%減少する見込みであると試算しております。

また、本第三者割当により一口当たり純資産については希薄化が生ずるものの、本第三者割当の払込金を用いて借入金等の一部期限前弁済を行うことにより、借入コストが減少し、ROA（総資産利益率）が向上する結果、現在の資産構成を前提として試算した第7期（平成20年12月1日～平成21年5月31日）以降巡航的な一口当たり分配金(c)は、第6期における同数値(d)と比較し、同等程度の水準になるものと見込まれます。さらに、本第三者割当実施を行った場合の第7期以降における巡航的な一口当たり分配金の試算値(c)は、本第三者割当を行わない場合の第7期以降における同試算値(e)と比較した場合には、むしろ向上するものと試算しております。これに加えて、有利子負債比率が従前の約52%から約30%へと大幅に改善されることに伴い、新規の借入金による物件取得余力が新たに創出され、更なる外部成長が可能になるものと考えます。

上述した事由により、本第三者割当における投資口の発行数量及び本第三者割当を実施したことによる一口当たりの分配金への影響は、合理的なものとして判断いたします。

（上記文中の(a)から(e)は下記の表に対応しております。）

一口当たり分配金の予想及び試算値

	第6期		第7期以降	
	当初発表予想	修正後予想	本第三者割当を行わない場合の試算値	本第三者割当を行った場合の試算値
一口当たり分配金	(a)14,706円	(b)14,232円	-	-
巡航的な一口当たり分配金(注1)	(d)8,967円	6,746円	(e)約8,500円	(c)約9,000円
物件売却益	5,739円	7,486円	-	-
有利子負債比率	-	30.1%	51.8%	30.1%

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

(注1)「巡航的な一口当たり分配金」とは、現在の資産構成を前提として算出した、一口当たり分配金から物件売却益を控除した分配金の額をいいます。

(注2)上記予想値及び試算値は、本投資法人が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。状況の変化により実際の一口当たり分配金、巡航的な一口当たり分配金及び物件売却益は変動する可能性があります。また、上記予想値及び試算値は将来の分配金の額を保証するものではありません。第6期に関する修正後予想の前提条件の詳細は、本日付で発表いたします「平成20年11月期(第6期)運用状況の予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。また、第7期以降の試算値については、期中に新たな物件の取得売却が行われないこと及び第6期と比較して営業外費用(有利子負債コスト)が7.23億円減少することを想定しているほかは、第6期運用状況の予想の前提条件が継続することを前提として試算しております。

9. 割当先の選定理由

(1) 割当先の概要

商号	株式会社コロンプス
事業内容	1. 匿名組合契約の締結並びにその出資財産の運用業務 2. 有価証券の取得、保有及び売買 3. 前各号に付帯又は関連する一切の業務
設立年月日	平成19年11月2日
本店所在地	東京都中央区銀座六丁目2番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小山 努
資本金	100,000,000円
発行済株式数	4,000株
決算期	10月31日
役員員数	11名
大株主及び持株比率	株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズ(100%)
当投資法人又は資産運用会社と割当先の関係等	割当先は、本投資法人の投資不動産物件である「ダヴィンチ銀座」の一部の賃借人です。割当先は、本資産運用会社の唯一の株主である株式会社ダヴィンチ・アドバイザーズの100%子会社であり、本資産運用会社の利害関係人等に該当します。

(2) 割当先を選定した理由

本投資法人においては、本年中に返済・償還期限を迎える有利子負債残高が約1,000億円存在し、かかる有利子負債のリファイナンスリスクが本投資法人の投資口価格に重大な影響を与えているものと認識しています。かかる状況を改善するべくあらゆる手段を検討した結果、本投資法人の企図するリファイナンスのタイミング及びファイナンスの確実性などの条件を考慮した場合、本第三者割当の実施がもっとも適切であると判断し、かかる条件に合致した割当先を選定いたしました。

また、本第三者割当により、リファイナンスリスクを軽減し財務基盤の安定を図り、今後の更なる外部成長を可能にする、という本投資法人の経営方針に対する賛同を得たため、割当先を選定いたしました。

(3) 割当先の保有方針

割当先は、平成20年6月4日から平成20年12月3日までの期間(以下「制限期間」といいます。)中、本投資法人及び本資産運用会社の事前の書面による同意を受けることなく、割当先が本第三者割

ご注意:この文書は、本投資法人の第三者割当による新投資口発行に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。

当により取得することを予定している本投資証券 138,905 口につき、第三者に対して、売却、貸付けその他の処分（ただし、割当先が資金調達のために行う現金担保付の貸付並びに当該投資証券への担保権の設定及び当該担保権の実行を除きます。）を行わない旨を合意しています。上記にかかわらず、（a）本投資法人又は本資産運用会社による本投資法人の業務に重大な悪影響を与える法令違反があった場合又は（b）本第三者割当に関して本投資法人又は本資産運用会社と割当先との間で締結される契約中に定める表明保証につき本投資法人の業務に重大な悪影響を与える違反があった場合は、割当先は、制限期間内においても、新投資口の売却その他の処分を行うことができます。

また、割当先は本投資法人の中長期的な成長を目指し、投資主として投資口価値の向上に向けた提案等を行うことも含めて、本投資法人の投資口を保有する方針であることを確認しています。

以 上

- * 本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
- * 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.da-office.co.jp>